

社会福祉法人リベルタ

生江特別養護老人ホーム白寿荘／大阪府大阪市

私たちは人権をキーワードに取り組みを進め「すべての人々が自分の生き方を自分で決めることができる」といった基本的なことが実施できるように支援をすることを法人理念に置き、社会福祉法人を20年前に設立しました。

現在、老人福祉・障がい者福祉・地域福祉に力を入れておりますが、今後も増加することが予測される認知症高齢者の方への支援、そしてそのご家族の想いに応えられる施設や事業所を展開していきたいと考えています。

全ての福祉事業において、その方の尊厳を守ることを第一に考え、それらを守る職員育成を図り、認知症ケアでは、常に認知症を患っている人の立場に立ち、ご利用者はもとより、ご家族の意向も尊重します。認知症をよく理解し、画一的な介護は行わず、その時の状態に応じた最適な介護で、心の安定と安心を提供する施設運営を提供させていただきます。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型CGS 30kW×1台、標準型GHP 85kW×8台
- 補助金額：24,278千円(補助率1/3)
- 災害時の設備用途：[給電] 停電時の避難スペース空調系統への給電、および一部コンセントへの給電
[空調] 停電時の避難スペース空調機能維持

対象施設	避難所面積	供給方式
福祉避難所	3,494㎡	低圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

社会福祉法人リベルタ 生江特別養護老人ホーム白寿荘 山口 昌宏 様

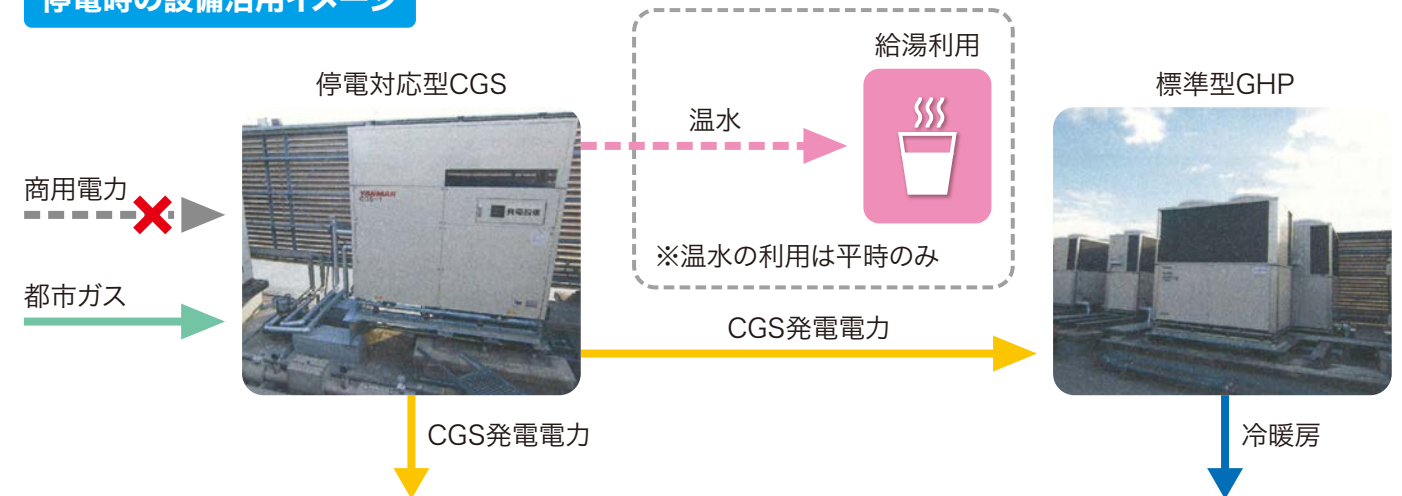
白寿荘では、災害時の避難所として活用される国や自治体の防災計画指定の施設として、国や自治体と協定を締結しています。地域住民の方に空間等を提供する施設として、地域と共に災害へ立ち向かう体制を整えていきたいと考えております。

その実現に向けて、かねてよりBCP対策についてハード・ソフトの両面で強化を図っており、ソフト面では非常時の運用方法やスタッフの役割分担に関するマニュアルを作成し、災害時の想定に則った訓練を徹底してまいりました。今回ハード面の強化として既存設備の更新を検討していたところ、ガス会社から当該補助金を活用した設備更新についてご提案いただきました。既設CGSを停電対応仕様へ更新し、給電先をGHPに選定することで、停電時に空調機能を維持できること、さらに補助金でイニシャルコストを軽減できることに魅力を感じ、補助金を活用した設備更新を決定しました。その際、補助事業の申請条件に「耐震性を向上させた低圧導管」があることから、ガス配管の耐震性が向上しているということを知ることができ、都市ガス設備への信頼度がより高まりました。

白寿荘では、地震等の災害があった際に福祉避難所となり、地域の要介護者及び高齢者に対して緊急入所施設として地域の皆さまに貢献するために、今後もBCP対策の強化を図ってまいります。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ



避難スペース(一例)

2階食堂コーナー



4階食堂コーナー



など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



空調



コンセント

協定概要

旭区とは「旭区における災害時に福祉避難所等として介護・高齢福祉施設等を使用することに関する協定書」を締結(平成24年12月)。「福祉避難所」及び「緊急入所施設」として使用することの協力要請について定めています。避難スペースでは、空調、一部コンセントの継続使用ができる計画となっています。